

# 防災ドローンの運用を実施・検討中の皆さまへ

操縦者のいない全自動防災ドローン

アトラス

# Atlas



red dot design award  
winner 2018

## 自動飛行 モードで簡単操縦

1度ルートを設定すればボタン1つで自動飛行を開始。  
平時の定期モニタリングにも活用できます。

## NATO諸国も納得の セキュリティ

厳しいセキュリティ基準を持つオランダ軍やノルウェーの捜索救助隊も運用中。  
EU製なので安心してお使いいただけます。

## 人命救助 の実績があるドローン

赤外線カメラで行方不明者を発見した実績あり。災害時の状況把握や山岳遭難者の捜索でも活躍が期待されます。

## 講習を受ければ 誰でも運用可能

タブレットに場所と高度を入力するだけで難しい操作は必要ありません。  
専門操縦士の人件費を削減できます。

## 機体一式の レンタルが可能

機体とスペアパーツ一式のレンタルサービスをご用意。初期費用を抑え、面倒な購入物品管理の手間が省けます。

Atlasの詳細、お問い合わせはホームページから▶



# 製品仕様とAtlasの強み



## 全自動防災ドローン「AtlasPro」の仕様

寸法	55×55×12cm (畳んだ状態:32×44×12cm)
重量	1.5kg (バッテリーを含む)
ペイロード	390g
最大運用時間	32分 (4Kカメラ搭載時:45分)
動作温度	-20℃～+55℃
最大速度	15.5 m/s (56km/h) (ペイロードあり)
最大風速抵抗	15.5 m/s
最大伝送距離	10km (リレー機能使用時:16km)
IP等級	IP53
周波数	2.2GHz～2.7GHz
エンクリプション	128bit AES (オプション:256bit AES)

### 国内ドローン市場が抱える課題



### Atlasが提案する解決策

長時間飛ばない



32分飛べるドローンをリレー形式で交代させて連続飛行できる

長距離飛ばない(4~6km)



リレー機能で最大16kmまで運用可能

雨・風に弱い(風速5~10m/s程度)



IP53防水・最大風速抵抗15.5m/sは小型ドローンでトップクラス

複数の機体を同時に制御できない



1台のGCSで複数の機体を制御可能  
ドローンやカメラのスイッチ機能もある

障害物があると通信できない



マスター機(1機目)をアンテナ代わりにスレーブ機(2機目)が障害物を越えて飛行。障害物の向こうの映像も撮れる

セキュリティ上の懸念がある



128bit AES または256bit AES方式で暗号化

## 株式会社WINGGATEについて

業務内容 ドローン及び関連ソフトウェアの開発・運用、コンサルティング業務

設立 2015年9月1日

代表の経歴 高校で宇宙物理学に興味を持ち、2004年に広島大学理学部物理科学科に入学し、硬X線天文学を専攻。2008年、名古屋大学大学院物理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻宇宙物理研究室に進学し、Astro-H(ひとみ衛星)に搭載する硬X線望遠鏡を研究。2010年に宇宙ベンチャー会社に初めての新卒採用として入社し、3年間人工衛星の地上局システム開発に従事。その後、個人事業主としてドローンの地上局システム開発を経験した後、会社設立。

実績 ・日本原子力研究開発機構(JAEA)及び宇宙航空研究開発機(JAXA)の共同事業である無人航空機システム「UARMS」の開発

・ardupilotを用いたドローン開発、運用

・ラトビア UAV Factory 社の無人航空機 Penguin C 運用ライセンス保持



代表: 扇 拓矢

Atlasの詳細、お問い合わせはホームページから▶

<https://winggate.co.jp/atlas>

